

事 業 計 画 書 (記載例)

① 事業の必要性：（申請に係る事業を実施することの必要性を具体的に記入してください）
 私は現在、妻の実家に妻、子供2人、義父母の計6人で生活しています。
 実家建物は老朽化が進んでおり、また居室数も少ないため、子供が成長することに伴い家族
 個々の居室確保が必要となる等今後の将来設計を考え、独立して住宅を建築するため今回の
 申請に至りました。

② 土地の選定理由：（事業を実施する上で、申請地（農地）を選定せざるを得なかった理由を具体的に記入してください）
 まず実家敷地内に建築することを検討しましたが、必要面積を確保することが困難でした。
 またその他の非農地も検討しましたが、土地所有者との話し合いがまとまりませんでした。
 申請地は上下水道が整備され、実家及び市道に接しており周辺農地に対する影響も少ない
 ことから、農地ではありますがやむなく選定いたしました。

③ 転用行為の妨げとなる権利（法第3条1項本文に掲げる権利）を有する者の有無及びその者の同意状況：
 有る ない（○で囲む）
 ↳ 氏 名： _____
 権利の内容： _____
 同意状況： _____

④ 申請地に係る農地が土地改良区の地区内にある場合はその調整状況：

 特定土地改良事業等の内容：
 有る ない（○で囲む）
 ↳（特定土地改良事業等の内容）

事業の種類	事業施行者	施行面積	申請地に関係する面積	施行時期	土地改良財産
		ha	m ²		

⑤ 土地の現況、土地利用計画及び計画面積の積算根拠：
 （土地の現況）
 地目ごとに記載すること

地目	面積(m ²)
田	
畑	300.00
宅地	
山林	
道路	
水路	
()	
()	
計	300.00

（土地利用計画）
 土地利用項目別に記載すること

土地利用項目	所要面積(m ²)	計画概要
住宅	59.50	木造二階建て
駐車場	37.50	乗用車3台分
のり面	20.17	
通路・庭園	182.83	
計	300.00	

（土地利用項目積算根拠）
 住宅：建築面積59.50m²
 駐車場：5.0m×2.5m×3台＝37.50m²
 のり面：別紙求積図のとおり
 通路・庭園：300.00m²－59.50m²－37.50m²－20.17m²＝182.83m²

⑥ 行政庁の免許、許可、認可等の状況及び処分の見込み(各法令毎に許認可処分庁における申請書受理年月日等の状況及びその処分の見込みを記述すること。)

関係法令名	処分権限庁	処分権限庁收受日	処分の見込み
道路法24条	田村市	農地転用許可後	事前協議中(許可可)

⑦ 法令(条例を含む。)により義務付けられている行政庁との協議状況(各法令等毎に処分庁における届出の受理状況等を記述すること。)

関係法令名	処分権限庁	届出の受理等年月日	備考
該当なし			

⑧ 農地以外の土地利用の見込み(所有者の同意状況等について記述すること。)
農地以外の土地が有る **ない** (○で囲む)

└─> 同意状況

⑨ 取水又は排水計画及び水利権者、漁業権者その他の関係権利者の同意状況

取水計画	南側市道に埋設の水道管より引水します。
排水計画 (雨水)	自然浸透及び集水マスで集め、南側市道の既設側溝に排水します。
(汚水)	南側市道に埋設の市公共下水道管に接続し排水します。

⑩ 申請に係る用途に遅滞なく供することの見込み(許可の日より概ね1年以内に許可の目的に供されない場合に記述すること。):

該当なし

⑪ 一時転用の場合における農地への復元方法等:

該当なし
